

需要獲得

サービス

株式会社デクシス

千葉県船橋市

検査工程の自動化と高精度化に寄与する最新技術 ニーズを捉える製品開発で成長

同社が開発・製造・販売を手がける外観検査装置は、高精度カメラから得る検査対象物の画像データを、システムが処理・解析することによって安定、高精度、高速な検査を実現する。顧客企業は、注射器、ノズル等の医療資材や医薬品のメーカーを中心に、半導体、液晶関連部品、自動車部品メーカーにまで多岐に渡るうえ、いずれも高度な精度や安全性が要求されるものばかりである。検査対象物の数値化や検査前後工程の自動化など、研究開発にも積極的に取り組みながら新たな需要の掘り起こしを進めている。

所在地	千葉県船橋市本町2-1-34 船橋スカイビル	設立	1998年
電話/FAX	047-420-0811/047-420-0813	資本金	10,000万円
URL	http://www.decsys.co.jp	従業員数	60人
代表者	代表取締役社長 関 忠男		



国内業界初の全工程自動外観検査システムを開発

通常の検査ラインでは、対象物を整列、検査装置本体への送り込み、検査機からの取り出し、箱詰めのように検査の前後に工程が存在するが、同社は国内業界で初めて前後工程を含めた全検査工程を自動で行うことが可能な「外観けんた君」の開発に成功した。他にも段階的に外観検査を導入できる卓上機の開発も取り組んでおり顧客のさまざまな検査ニーズに対応できる体制を整えている。



人型外観検査システム「外観けんた君」

タイの外観検査装置のニーズを捉えた海外展開

海外で外観検査の自動化ニーズが多いことに着目した同社は、2017年にタイへ進出。画像処理ユニットは日本から供給。タイの協力会社に組立を委託し、社内では営業と技術サポートに特化することで強み分野に注力している。また、ローカライズに向けた取り組みとして、日本より人件費の安いタイ向けに検査工程の全自動装置ではなく人手を介在する半自動検査装置を提案したところ、現地市場から高く評価され現地法人は営業開始初年度から黒字となり、半自動検査装置を日本で逆輸入するケースも出てくるなど、海外事業と日本事業に相乗効果も生まれている。



2017年にタイ法人を設立

地元企業との協業と地元スポーツの振興への貢献

2018年に主力生産・開発拠点となる山形県天童市において新事業所の稼働を開始した。天童市近隣の企業との協業を基軸とした事業展開を進めるなど外部企業との提携にも積極的な同社の取組は、地元からも歓迎を受けている。また、本社のある千葉県及び工場のある山形県をそれぞれを拠点とするプロバスケットボールチームの千葉ジェッツふなばしおよびパストラボ山形ワイヴァンズのスポンサーを担うことによって地元スポーツの振興にも貢献するなど地域と一体となった企業経営を推進している。



地元スポーツの振興にも貢献

需要獲得

サービス